

ニュースレター第 32 号をお届けいたします。今号は樋野先生とスタッフの青木が担当します。

『継続の大切さ』 ～ 『ユーモア溢れる 高貴な心』 ～

樋野興夫 (順天堂大学名誉教授、新渡戸稲造記念センター長)



2025 年 8 月 9 日【お茶の水メディカル・カフェ in お茶の水クリスチャン・センター (OCC)】に赴いた。筆者は、別室で 4 組(5 名)の個人面談の機会が与えられた。大変貴重な時となった。この度、スタッフの『食いしん坊のコツメカワウソ(戸田祐子)』様から『OCC ニュースレター第 32 号』の原稿を依頼された。継続の大切さを実感する日々である。

想えば、筆者は、『順天堂大学医学部 病理・腫瘍学教授』時代の 2012 年 5 月 26 日に OCC での第 1 回『お茶の水 (OCC) メディカル・カフェ』に参上したものである。昨年 (2024 年)編集長の『まどろむ文鳥(山崎智子)』先生が『OCC カフェ 12 周年記念誌』を製作された(添付)。今回の『お茶の水 (OCC) メディカル・カフェ』は、何回目であろうか? 事務局担当の増田謙一様が、調べられることであろう! 毎日忙しくしくされているスタッフの『春風のようなゴリラ 🦍(森尚子)』様の『バタバタ症候群』と筆者の『無人島でひとり住んでいるロビンソン・クルーソー(Robinson Crusoe) 症候群』の比較が、今回話題になった。

また、筆者は『人生の心構えについて』さりげなく語った(添付)。『お茶の水メディカル・カフェ in OCC』のスタッフの皆様の『ユーモア溢れる 品性のある 強靱で 高貴な心』には、ただただ感謝である。

(次ページへ続く)



『人生の心構えについて』

- 20&30歳代：人に言われたことを黙々と
がむしゃらにやる
40歳代：自分のやりたいことや好きな
ことに専念する
50歳代：積極的に周りの人の面倒をみる
60歳代：自分のことしか
考えていなかったら恥と思え
70歳代：自分のことを語る
80歳代：自分の人生をプレゼントにする
90歳代：天寿を全うする
100歳代：天国でカフェを開く



8月のお茶の水メディカルカフェ

「丁寧な観察。」「空の上から見る観察。」「嫌といわない人間。」「使命が与えられている。」「人生の目的は品性の完成にある。」「誰かのためにあるということで人は心が豊かになる。」樋野先生の講話から始まり3つのテーブルでカフェが始まりました。

2週間前に7月のカフェがありましたが、間隔が短いにも関わらず笑顔で来られた方、初めての方、久しぶりに来られた方、様々な方々がお越しになり、この場所を必要とされていることを感じます。

振り返ると榊原先生と樋野先生から始まったメディカルカフェ。2012年5月第1回から2020年2月22日までで93回を迎えています。その後コロナ禍のためカフェは中止となり、榊原先生はその年の12月に天に召されました。

2021年12月11日に樋野先生と大嶋先生のカフェが再開となり、2025年8月9日まででカフェは46回となりました。

2011年の立ち上げから今に至る14年間、月に1回のカフェ、1年で12回、途中コロナで中断することもありましたが1回目から合計すると139回です。いつも同じではなく様々な出来事、別れや出会いがありながら毎回お茶の水がん哲学外来メディカルカフェが継続していることに、感慨を覚えます。

カフェでの出会いと大切な場所を与えていただいていることに感謝します。

「60歳代は自分のことしか考えていなかったら恥と思え」との「人生の心構えについて」を覚えてお茶の水メディカルカフェが来られる方にとって安心・安全の場、誰かのために誰かがいると感じられる温かな場所となるように心掛けていきたいと思えます。

9月で140回目を迎えるメディカルカフェ、スタッフ一同皆様のご参加を心よりお待ちしております。

お茶の水がん哲学外来・メディカル・カフェ in OCC スタッフ 青木美由紀